



"Yes, I can!"



～ 新年に君は何を誓う? ～

約2週間の冬休みも終わり、いよいよ今日から3学期が始まります。3年生にとっては残り僅かとなった高校生活いかに過ごすかが問われます。進路決定者も多く出ている中で、これから本番を迎える受験生もいます。今月14日・15日の大学入試センター試験を皮切りに、大学や短大専門学校等の入試や就職試験等が3月まで続いて行きます。受験生にとってこの時期は、体調管理をしっかりと行うことも大切です。現役生の力は本番ぎりぎりまで伸びて行きます。そのことをしっかりと肝に銘じて、最後の最後まで諦めずに根気強く取り組んで下さい。

そして、1・2年生にとっての3学期というのは、新学年を迎える為のゼロ学期という位置づけを個々人が自覚し、今学年で学習した内容をしっかりと見直し、新学年に備え計画立てて学習する習慣を身に付けましょう。苦手科目から逃げては駄目です。わからなければわかるまでとことんやり通す事です。先生方はやる気のある君たちをしっかりと支え応援してくれます。待っているはいつまでたっても解決しません。挑戦しなければ、成功する確率はゼロのままです。

『失敗すればやり直せばいい。やり直してダメならもう一度工夫し、もう一度やり直せばいい。失敗の多くは成功するまでに諦めてしまうところに原因がある。』

最後の最後まで諦めてはいけない。(松下幸之助)』

若い君達はいくらでもやり直しがききます。新しい年にしっかりと自分の大きな目標を掲げ、それに向けて邁進して行って下さい。必ずや道は開けます。 **Just do it!**



◆ 今年の干支 「酉(とり)」について



*由来: 「酉」は十二支の10番目で、「酉」の本来の読みは「ゆう」と読み、口の細い酒壺を描いたもので、酒に関する字に用いられる。収穫した作物から酒を抽出する意味や、収穫できる状態である事から「実る」も表す。「とり」は「取り込む」で商売にもつながるとされ、酉年は実りの多い年、成果の出る区切りの年とされている。

十二支はかつて中国で農業を行う際に暦として使われていた農業用語で、それが江戸時代に日本に伝えられ、一般庶民にも分かりやすいように十二支に動物が当てはめられたようだ。干支の酉は「にわとり」のことで、酒と漢字の似た酉が身近にいる鶏と同意のため十二支となったと考えられている。

*酉年生れの特徴:
行動力があり積極的で世話好き。

◆ 「睦月(むつき)」

旧暦で正月(1月)のこと。「睦月」という名前の由来には諸説あるが、1年の初めの月は、親族一同集まり仲睦まじくする月「睦び月(むびつき)」の意であるとする説が有力。他に、元になる月で「元月(もとつき)」が「むつき」に転じたとする説もある。

英語のJanuaryは、ローマ神話の出入口とドアの神「ヤヌス(Janus)」にちなんでおり、年の入り口にあたることから、「ヤヌスの月」となったようだ。



～ 時の言葉 ～

「やっている姿を感謝で見守って
信頼せねば人は実らず。」

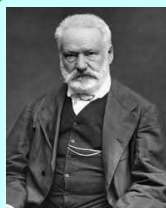


山本 五十六 (やまもと いそく) 1884～1943: 新潟県出身海軍軍人で、「真珠湾攻撃」や「ミッドウェイ海戦」を指揮した人物であるが、太平洋戦争に反対しながらも戦争を指揮主導した悲劇的な指揮官として知られている。彼の言葉や思想は格言としても人気が高い。

～ English Maxim (名言) ～

"There is nothing like a dream
to create the future."

「夢、これ以外に将来を創り出すものはない。」



Victor Hugo (ヴィクトル・ユゴー): 1802～1885 19世紀フランスを代表する詩人・小説家・政治家。日本ではジャン・ヴァルジャンを主人公とした傑作長編「レ・ミゼラブル(ああ、無情)」で特に知られている。1959～65まで発行された57円紙幣に彼の肖像画が採用された。



◆ 高2の夏の小4バールの学力から慶大現役合格を勝ち取ったびりギャル「小林さやか」さんの一言

『勉強が嫌いなのは、できないから。小さなできるを大きな**“やる気”**に変えて行った!』